

「疑心あることなし」

あれごらん親に抱かれて寝る赤児

落ちる落ちぬの心配なし

この歌は、神戸市の稲垣瑞剣師が詠まれました。このような光景がめつきり少なくなりましたがお母さんにおんぶされた赤ちゃんの姿は理屈なしの「おまかせ」です。お母さんにしがみつくこともなく、両手を外に出して、スヤスヤと寝ています。因みに、私は高所恐怖症です。飛行機に乗ることはありましたが、機内で眠ったことはありません。不安なのです。まかせきれてないのです。

先の歌は、真宗のよろこびを味わう尊いうたです。

阿弥陀さまのたしかな名号が私に至り届けられる時、私の先行き、心配は無用です。「疑心あることなし。これを聞といふ」

ようこそのお念仏です。

